

○国民健康保険の調整交付金の交付額の算定に関する省令の施行等について（昭和 38 年 3 月 23 日付け厚生事務次官通知） 新旧対照表

改正後	現行
<p>2 特別調整交付金</p> <p>(1)・(2) (略)</p> <p>(3) <u>国民健康保険の調整交付金等の交付額の算定に関する省令(昭和 38 年厚生省令第 10 号。以下「算定省令」という。)</u> 附則第 7 条第 1 項第 2 号及び第 3 号に規定する結核性疾病とは、<u>社会保険表章用疾病分類表（平成 30 年 3 月 28 日保発 0328 第 4 号）の疾病分類コード I「感染症及び寄生虫」内の「0102 結核」</u>に該当する疾病をいい、精神病とは、同分類表の<u>疾病分類コード V「精神及び行動の障害」</u>に該当する疾病をいうこと。</p> <p>なお、結核性疾病に係る額又は精神病に係る額は、次により算定した額の合計額から、<u>算定省令第 7 条第 1 項第 1 号</u>の額を控除した額の合計額とすること。</p> <p>ア (略)</p> <p>イ 「傷病名」欄に結核性疾病と結核性疾病以外の傷病又は精神病と精神病以外の傷病とが併記されている診療報酬請求明細書及び療養費支給申請書については、その主要疾病を①又は②により判定し、結核性疾病又は精神病を主要疾病とする診療報酬請求明細書及び療養費支給申請書に係る療養給付費保険者負担額と結核性疾病又は精神病を主要疾病としない診療報酬請求明細書及び療養費支給申請書の入院時基本診療料、入院料並びに基準給食及び給食に要する費用に係る<u>市町村の療養給付費負担額との合計額</u></p> <p>① 点数により主要疾病であるか判断する場合</p> <p>(ア) <u>診療の対象となった傷病のうち点数が最大であるもの</u></p> <p>(イ) <u>点数の大小によって判定が困難な場合は、診療の対象となつた傷病のうち最も重篤であるもの</u></p>	<p>2 特別調整交付金</p> <p>(1)・(2) (略)</p> <p>(3) <u>省令第六条第四号に規定する結核性疾病とは、社会保険表章用七十項目疾病分類表（昭和二十五年五月一日保発第二七号及び昭和二十六年五月二十一日保発第四五号）の分類番号の一及び二に該当する疾病をいい、精神病とは、同分類表の分類番号 V に該当する疾病をいうこと。</u></p> <p>なお、結核性疾病に係る額又は精神病に係る額は、次により算定した額の合計額から、<u>省令第四条第一号及び第二号</u>の額を控除した額の合計額とすること。</p> <p>ア (略)</p> <p>イ 「傷病名」欄に結核性疾病と結核性疾病以外の傷病又は精神病と精神病以外の傷病とが併記されている診療報酬請求明細書及び療養費支給申請書については、その主要疾病を<u>次</u>により判定し、結核性疾病又は精神病を主要疾病とする診療報酬請求明細書及び療養費支給申請書に係る療養給付費保険者負担額と結核性疾病又は精神病を主要疾病としない診療報酬請求明細書及び療養費支給申請書の入院時基本診療料、入院料並びに基準給食及び給食に要する費用に係る<u>療養給付費保険者負担額との合計額</u></p> <p>(ア) <u>診療の対象となつた傷病のうち点数が最大であるもの</u></p> <p>(イ) <u>点数の大小によつて判定が困難な場合は、診療の対象となつた傷病のうち最も重篤であるもの</u></p>

改正後	現行
<p>② <u>主傷病の記載により主要疾病であるか判断する場合</u></p> <p><u>(ア) 傷病名欄に主傷病の記載があるもの</u></p> <p><u>(イ) 傷病名欄に主傷病の記載がない又は複数ある場合は、点数が最大であるもの</u></p> <p>(4)・(5) (略)</p>	<p>(4)・(5) (略)</p>